会社説明会

平成25年3月期決算説明会

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

証券コード：4531　東証1部

目　次

Ⅰ．会社の概要
Ⅱ．前中期経営計画の結果
Ⅲ．平成２５年３月期の決算概要
Ⅳ．新中期経営計画の概要
Ⅴ．平成２６年３月期の計画

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅰ．会社の概要

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅰ．会社の概要

社　　名	有機合成薬品工業株式会社
設　　立	昭和22年11月4日
事 業 所	本社・大阪営業所・東京研究所・常磐工場
資 本 金	34億7千1百万円
代 表 者	取締役社長　伊 藤 和 夫
事業内容	・有機合成製品および一般化学製品の製造ならびに販売 ・医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、食品、食品添加物、飼料、飼料添加物、農薬、工業薬品、香料、化粧品の製造ならびに販売 ・たばこに関連する香料および資材の製造ならびに販売 ・科学機械の製作ならびに販売 ・前各号に関連する原材料、製品の販売
従業員数	253名（平成25年3月31日現在）
証券取引所	東京証券取引所市場第1部（平成16年9月より）

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅰ．会社の概要　経営理念

私たちは

ファインケミカルに機軸を置き

叡知と技術を結集した

真の『ものづくり』に挑戦します

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅰ．会社の概要　当社の強み

- 60余年に亘り培われた「合成技術」
- 量産化・工業化プロセスの構築
- ニーズに合った良質な製品

⇒※ファインケミカル商品の提供

※ファインケミカルとは

高純粋に精製された単一の化学物質で、加工度が高く、多品種・少量生産で付加価値の高いものをさします。
標準的な反応によって大量生産されるバルクケミカルと区別されます。

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅰ．会社の概要　当社の商品

アミノ酸関係

・日持ち向上剤
（おにぎり、菓子パン等）
・輸液製剤
・半導体研磨剤
・ビタミン原料
（医薬品、化粧品等）
・調味料
（漬物、カップラーメン等）

化成品関係

・電子材料用表面処理剤
・船底塗料用原料
・農薬原料
・タイヤコード接着剤用原料
・ポリオレフィン触媒材料

医薬品関係

・医薬品原薬
抗ウイルス薬
抗ヘパリン薬
抗結核薬
去痰薬
・医薬品原料
・医薬品重要中間体
・化粧品原体

Ⅱ．前中期経営計画の結果

平成22年4月～平成25年3月

Ⅱ．前中期経営計画　基本方針

基本方針

世界市場をターゲットに独自技術を駆使した戦略的アクションの推進

顧客満足度の高い製品及びサービスの提供

世界市場で存在感のある真のグローバル企業への飛躍

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅱ．前中期経営計画　戦略

中期経営計画 07中計（平成19年～平成21年度）	新中期経営計画　10中計（平成22年～平成24年度）	将来の方向性

a. 景況に左右されない黒字体質への転換
b. 既存コア事業の強化・拡大
c. コストダウンによる競争力強化
d. 次世代を担う製品の開発・育成

→ 企業体質の強化
→ 持続的な成長基盤の確立

→ 経営理念の実現
→ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ企業への飛躍

Ⅱ. 前中期経営計画　実績①

前中期経営計画　利益計画・実績

（単位：百万円）

	平成23年3月期		平成24年3月期		平成25年3月期	
	計　画	実　績	計　画	実　績	計　画	実　績
売　上　高	10,700	9,322	11,100	8,116	12,300	8,609
営業利益	380	307	500	487	790	7
経常利益	280	258	420	453	730	3
特別利益		50		38		1,056(補償金等1,048)
特別損失		△236(災害損失△201)		△450(災害損失△416)		△408(減損損失△329)
税引前当期純利益	―	73	―	41	―	650
法人税等調整額	―	75	―	△176	―	232
当期純利益	130	△11	220	207	400	337

Ⅱ. 前中期経営計画　実績②

前中期経営計画　製品区分ごと売上高

（単位：百万円）

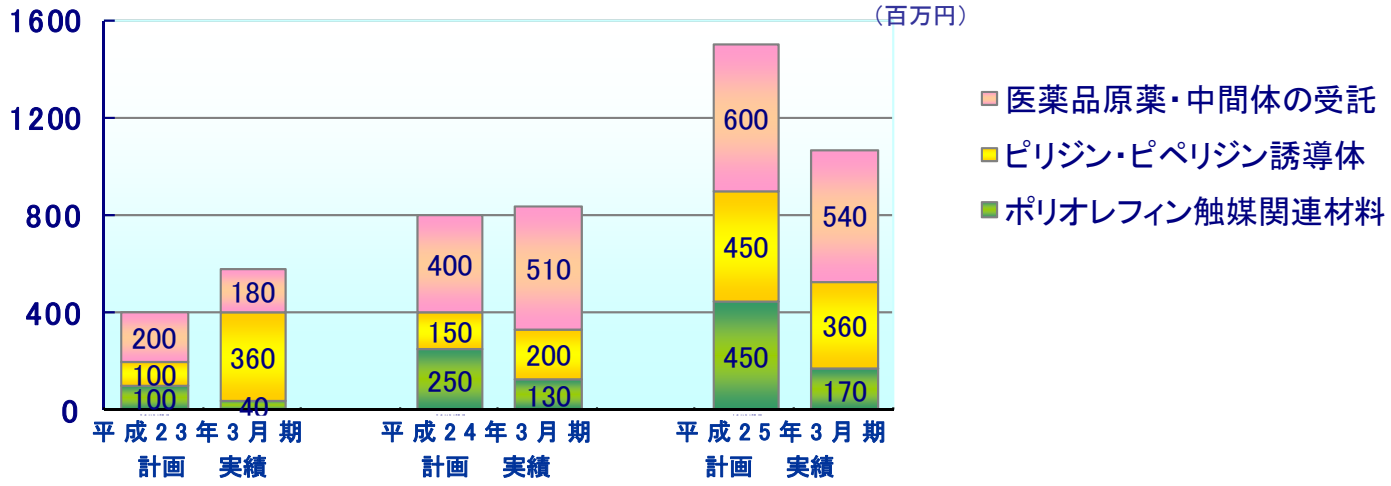
売　上　高		平成２３年３月期		平成２４年３月期		平成２５年３月期	
		計　画	実　績	計　画	実　績	計　画	実　績
		10,700	9,322	11,100	8,116	12,300	8,609
製品区分	アミノ酸関係	3,900	3,951	4,100	2,831	4,400	3,173
	化成品関係	5,100	3,634	4,900	3,220	5,400	3,339
	医薬品関係	1,700	1,736	2,100	2,065	2,500	2,096

Ⅱ．前中期経営計画　開発状況

医薬品原薬・中間体の受託
- 既存親密先との関係強化
  - ・治験原薬・既存原薬・中間体の製造受託
  - ・長期収載品原体製造受託
- ジェネリック医薬品事業の展開
  - ニプロ社との提携推進

ピリジン・ピペリジン誘導体
- 光学活性体等付加価値の追求
- 提案型営業の積極的推進

ポリオレフィン触媒関連材料
- 新規受託分野の開拓



Ⅲ．平成25年3月期決算概要

平成24年4月～平成25年3月

Ⅲ. 平成25年3月期　決算実績①

平成25年3月期　利益計画と実績

（単位：百万円）

	計画 (H24.10.31付開示)	実績	ポイント
売上高	9,000	8,609	
売上総利益 （売上高比率）	1,620 (18.0%)	1,419 (16.5%)	売上高減少による利益減 操業度差損等の発生
営業利益 （売上高比率）	100 (1.1%)	7 (0.1%)	
経常利益 （売上高比率）	70 (0.8%)	3 (0.03%)	
税引前当期純利益	1,000	650	化成品製造設備の減損損失 329百万円を計上
当期純利益	650	337	

Ⅲ. 平成25年3月期　決算実績②

平成25年3月期損益　対　前年二期比較

（単位：百万円）

	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	増減	ポイント
売上高	9,322	8,116	8,609	△713	回復基調にあるも震災以前の水準まで戻っていない。
売上原価 （売上高比率）	7,191 (77.1%)	6,187 (76.2%)	7,189 (83.5%)	2	平成23･24年3月期は、操業休止期間中の固定費を特別損失に計上 （H23. 3期201百万円、H24. 3期416百万円）
販売管理費 （売上高比率）	1,823 (19.6%)	1,441 (17.7%)	1,412 (16.4%)	△411	売上減に伴う輸送費等の減少、研究費（試作原料費等）の減少 他。
営業利益 （売上高比率）	307 (3.3%)	487 (6.0%)	7 (0.09%)	△300	
経常利益 （売上高比率）	258 (2.8%)	453 (5.6%)	3 (0.04%)	△255	
税引前当期純利益	73	41	650	577	当期：特別利益1,048百万円（補償金・補助金）、特別損失329百万円（減損損失）
当期純利益	△11	207	337	349	

Ⅲ. 平成25年3月期　決算実績③

平成25年3月期製品区分別売上高　対　前年二期比較

（単位：百万円）

	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	増減	ポ　イ　ン　ト
アミノ酸関係	**3,951**	**2,831**	**3,173**	**△778**	**円安の進行及び風評被害の影響から徐々に回復基調にはあるものの、震災以前の売上水準には戻っていない。**
国　内	1,931	1,306	1,418		
輸　出	2,020	1,524	1,754		
化成品関係	**3,634**	**3,220**	**3,339**	**△295**	**船底塗料用原料の国内及び輸出販売、農薬用原料・特殊触媒の国内販売などが増加し、対前期比増加だが、震災以前の売上水準には戻っていない。**
国　内	2,783	2,543	2,726		
輸　出	851	676	613		
医薬品関係	**1,736**	**2,065**	**2,096**	**360**	**既存医薬品及び新規医薬品ともに前期に比べほぼ同じ売上高で、順調に推移している。**
国　内	1,380	1,677	1,703		
輸　出	356	387	392		
合　計	**9,322**	**8,116**	**8,609**	**△713**	

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅲ. 平成25年3月期　決算実績④

平成25年3月期　四半期毎段階利益

（単位：百万円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計	ポイント
売　上　高	1,809	1,931	2,149	2,720	8,609	四半期毎に回復
売上総利益 （売上高比率）	97 (5.4%)	378 (19.5%)	358 (16.7%)	587 (21.6%)	1,419 (16.5%)	4Q：震災前の粗利率まで回復
営　業　利　益 （売上高比率）	△258 (－%)	27 (1.4%)	5 (0.2%)	235 (8.6%)	7 (0.1%)	
経　常　利　益 （売上高比率）	△246 (－%)	△2 (－%)	23 (1.1%)	229 (8.4%)	3 (0.03%)	
税引前当期純利益	263	505	26	△144	650	4Q：減損損失
当　期　純　利　益	164	401	16	△243	337	

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅲ. 平成25年3月期　決算実績⑤

平成25年3月期　四半期毎製品区分別売上高

（単位：百万円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	ポ　イ　ン　ト
アミノ酸関係	**676**	**794**	**729**	**972**	**平成24年末以降の円安と風評被害が収まりつつあることから、輸出販売が急回復**
国　内	370	358	381	308	
輸　出	306	435	348	663	
化成品関係	**948**	**640**	**898**	**851**	**船底塗料用原料及び農薬用原料が増加**
国　内	776	559	741	647	
輸　出	172	81	156	203	
医薬品関係	**183**	**496**	**520**	**895**	**原薬の一部製品で販売時期が４Ｑに集中**
国　内	127	471	372	733	
輸　出	56	25	148	162	
合　計	**1,809**	**1,931**	**2,148**	**2,720**	

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅳ. 新中期経営計画の概要

平成25年4月～平成28年3月

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅳ. 新中期経営計画　前中計総括

前中期経営計画の反省

業績低迷は震災以外の要因もあったのではと考え、今一度、お客さまを始めとする市場の状況や動向を掴む

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅳ. 新中期経営計画　行動指針

【新中期経営計画行動指針】

『当たり前のことを当たり前にやる会社、

人を大切に思う会社』を目指す。

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅳ. 新中期経営計画　基本方針

【中期経営計画基本方針】

アミノ酸・化成品関係の医薬中間体・原料を始め、
医薬品関係（ジェネリックを含む原薬）を成長ドライバーとし、
早期に成長軌道に乗せる

Ⅳ. 新中期経営計画　戦略

【戦　略（経営課題）】

1. 企業風土の変革（意識改革の徹底）

2. 高品位アミノ酸でのトップシェア維持・拡大

3. 収益基盤としての医薬事業の地位確立

4. 将来を見据えた新規事業への取組み

Ⅳ. 新中期経営計画　施策①

1. 企業風土の変革（意識改革の徹底）

	項　目	
①	次代を担う人材育成・教育の強化	自らが動き、判断できる人材を育てる。
②	全員参加による工場改革活動の推進	自立し、能動的な対応・行動が採れる企業体に変える。
③	お客さま視点による意識の徹底	顧客の立場・視点で物事を考えることの重要性を、全社に認識させる。
④	資産の効率的運用を通じた総資産利益率の向上	資産の効率的活用に努め、収益力を改善する。

Ⅳ. 新中期経営計画　施策②－1

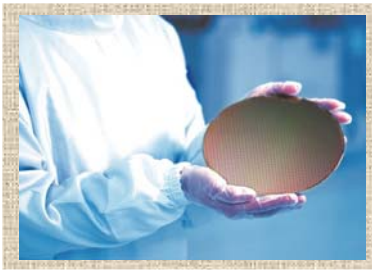
2. 高品位アミノ酸でのトップシェア維持・拡大

	項　目	
①	海外新規取引先の発掘・獲得	海外取引を積極的に拡大する。
②	お客さまのニーズに基づく新たな用途開発	取引先のニーズを汲み取り、製品の供給・新商品の開発を進める。
③	原材料調達ソースの多様化によるコスト競争力の強化	リスク分散・原価削減を図る。

Ⅳ. 新中期経営計画　施策②－2

ターゲットとする高品位アミノ酸

医薬品関連	輸液製剤（点滴）、賦形剤、崩壊促進剤等医薬品用途の国内外市場拡大を図る。
半導体関連	電子材料向けCMPスラリー等、高品質対応力でシェア拡大を図る。



【食品関連】

引き続きコンビニなどの食品流通業界を中心とした保存料の代替（日持ち向上用）として販売拡大を図る。

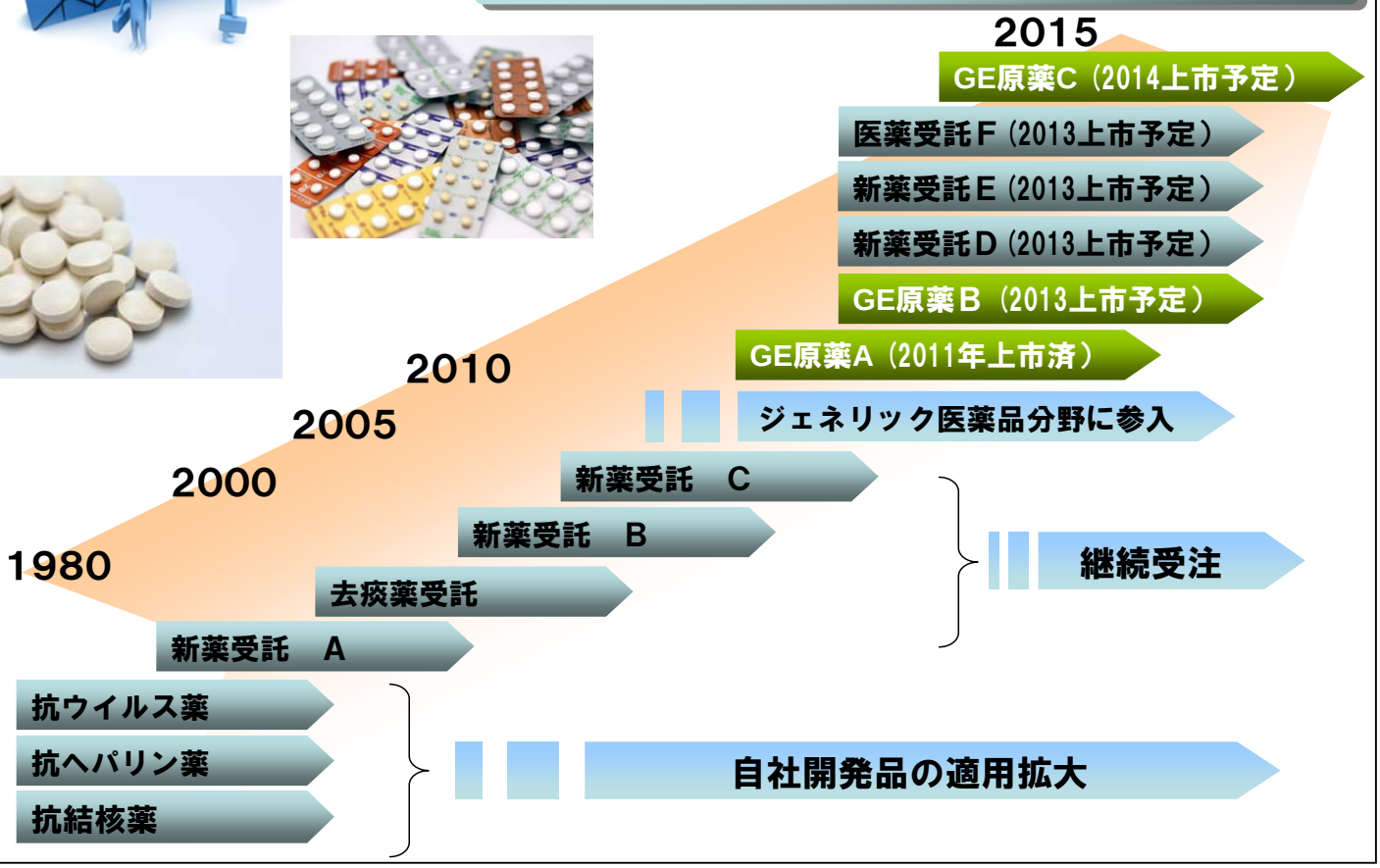
Ⅳ. 新中期経営計画　施策③－1

3. 収益基盤としての医薬品関係の地位確立

項　目		
①	開発スピードを重視した受託体制の強化	医薬品受託企業としての市場での評価・地位を高める。
②	中長期的視野に立った効率的な設備投資	既存設備の効率化を最大限に図り、新規設備投資を計画的に進める。
③	開発業務の効率化によるコスト競争力の強化	医薬品事業におけるコスト削減策の可能性を追求し、採算性をより高める。

Ⅳ. 新中期経営計画　施策③－2

医薬品事業のマイルストーン

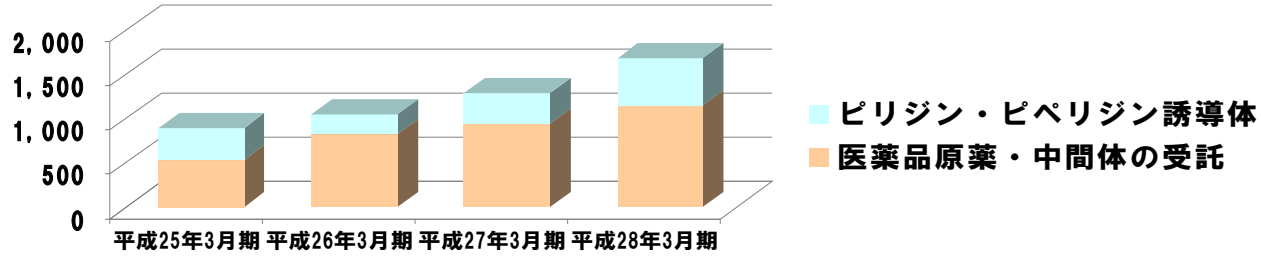


Ⅳ. 新中期経営計画　施策③－3

開発品計画（前中期経営計画から継続）

（単位：百万円）

	平成25年3月期 実　績	平成26年3月期 計　画	平成27年3月期 計　画	平成28年3月期 計　画	ポ　イ　ン　ト
医薬品原薬・中間体の受託	540	830	950	1,160	新中計期間で５製品上市予定。年度ごとに売上を拡大。
ピリジン・ピペリジン誘導体	360	220	340	530	新中計期間初年度は製品出荷サイクルの谷間で前年度割れするも最終年度は５割増。
合　計	900	1,050	1,290	1,690	



Ⅳ. 新中期経営計画　施策④

4. 将来を見据えた新規事業への取り組み

	項　目	
①	食品・化粧品等のライフサイエンス分野を中心とした新商品の開発	食品・化粧品関係の顧客基盤を最大限に活用し、新規事業への展開を図る。
②	医薬分野における新規事業への挑戦	医薬品分野の新規事業に、積極果敢に挑戦する。
③	既存技術の進化、それに基づく新規事業への展開	当社技術を一層深化させ、社会に貢献できる新規事業を立ち上げる。

Ⅳ. 新中期経営計画　数値目標①

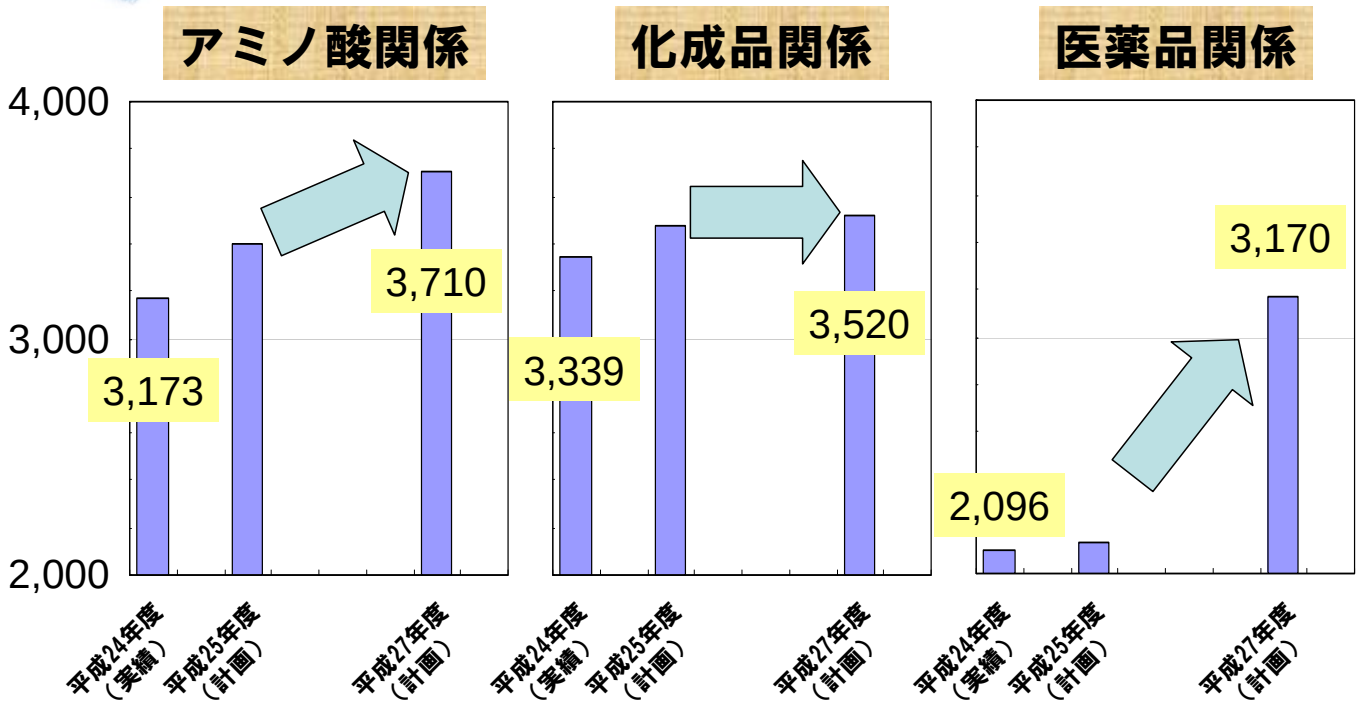
（単位：百万円）

	平成25年3月期 実　績	平成26年3月期 計　画	平成27年3月期 計　画	平成28年3月期 計　画
売　上　高	**8,609**	**9,000**	**9,500**	**10,400**
アミノ酸本部	3,173	3,400	3,430	3,710
化成品本部	3,339	3,470	3,490	3,520
医薬品本部	2,096	2,130	2,580	3,170
営業利益	**7**	**200**	**380**	**630**
営業利益率（%）	**0.1**	**2.2**	**4.2**	**5.8**
総資産額	**16,547**	**16,900**	**17,000**	**17,500**
ＲＯＡ（注）	**0.04**	**1.1**	**2.2**	**3.6**

（注）ROA（総資産利益率＝営業利益÷総資産）

Ⅳ. 新中期経営計画　数値目標②

（単位：百万円）



Ⅳ. 新中期経営計画　数値目標③

新中計における投資計画

（単位：百万円）

	平成26年3月期 計　画	平成27年3月期 計　画	平成28年3月期 計　画
研究開発費	190	220	250
設備投資額	1,000	930	930
減価償却費	610	610	670

Ⅴ. 平成26年3月期業績予想

平成25年4月～平成26年3月

有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

Ⅴ. 平成26年3月期の計画

平成26年3月期計画　対　平成25年3月期比較

（単位：百万円）

	平成25年3月期 実　績	平成26年3月期 計　画	増 減	ポ　イ　ン　ト
売　上　高	8,609	9,000	391	風評被害の影響から脱し、業績回復
営 業 利 益	7	200	193	
経 常 利 益	3	240	237	
当期純利益	337	120	△217	H25. 3期　百万円 補償金等受入（特別利益　1, 048） 減損損失計上（特別損失　△329）
1株当たり当期純利益	15.47	5.49	△9.98	
設備投資額	573	1,000	427	新規医薬品対応製造設備増強等
減価償却費	728	610	△118	減価償却方法変更（定率→定額）

Ⅴ. 平成26年3月期の計画

平成26年3月期製品区分別計画　対　平成25年3月期比較

（単位：百万円）

	平成25年3月期 実　績	平成26年3月期 計　画	増　減	ポ　イ　ン　ト
アミノ酸関係	**3,173**	**3,400**	**227**	**風評被害の影響から脱し、業績回復 主力製品グリシンの輸出販売増加（欧州・米国向け）**
国　内	1,418	1,500	82	
輸　出	1,754	1,900	146	
化成品関係	**3,339**	**3,470**	**131**	**農薬用原料・特殊触媒等の国内販売が減少するも、船底塗料用原料・タイヤコード接着剤原料の輸出が増加**
国　内	2,726	2,530	△196	
輸　出	613	940	327	
医薬品関係	**2,096**	**2,130**	**34**	**ピリジン・ピペリジン誘導体類の販売が減少するも、受託品の販売は増加**
国　内	1,703	1,630	△73	
輸　出	392	500	108	
合　計	**8,609**	**9,000**	**391**	

IRに関する問合せ先

有機合成薬品工業株式会社
IR窓口：取締役　管理部門統括　山戸　康彦
電　話：03-3664-3980

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。